

沖縄伝統空手有段者（黒帯取得者）が 610 名に

本校では「グローバル社会で信頼される文武両道の教養人の基礎づくり」をめざし、その資質の一つとして文化力を身につけることを、大きな教育目標の一つとして掲げています。すなわち、日本人、沖縄県人として世界中どこに行っても信頼され尊敬される文化力を身につけるため、沖縄伝統空手を必修授業とし、週 1 回 70 分授業を「沖縄空手」授業としています。平成 19 年から、沖縄県空手道連盟との協定の下、同連盟から派遣される講師の指導により、全生徒が沖縄伝統空手に取り組んでいます。中 1 から高校卒業まで、各学年で取得目標級・段を掲げ、年 2 回校内で開催される同連盟主催の級位・段位認定試験に生徒全員が望み、目標達成に全力を尽くしています。

このほど開催された今年度第 2 回の高校段位・級位認定試験の結果、今年度の高校在学生のうち、実に 610 名が段位（黒帯）を取得することができました。詳細は以下の通りです。

平成 28 学年度 沖縄県空手道連盟認定

在校生総数 1132 人（留学生・休学生を除く）中

○有段者（黒帯）**610 名**、うち初段 448 名、二段 162 名

○1 級～3 級（茶帯）**405 名**

○全校生徒に占める有段者（黒帯）の割合 **53.8%**

○全校生徒に占める茶帯以上（黒帯含む）の割合 **89.6%**

平成 25 年度以降の有段者（黒帯取得者）数の推移 ※在校生のみの数字

平成 25 年度 373 名

平成 26 年度 411 名

平成 27 年度 491 名

平成 28 年度 610 名